

2019 年度事業計画

少子高齢化が加速する中、2025 年に向けて進められてきた社会保障制度改革に続き、団塊ジュニア世代が高齢者となる 2040 年を見据えて国民皆保険制度の維持・継承と全世代型社会保障の構築を目指した取組みが始まろうとしている。

こうした中で、医薬品の安全・安心な供給や処方箋による調剤業務や服薬指導はもちろんのこと、「地域包括ケアシステム」の一員として多職種と連携しての在宅医療への参画やセルフメディケーションの推進に伴う医薬品の適正使用の啓発、学校での学校環境衛生活動やくすり教育、医薬品の乱用も視野に入れた薬物乱用防止活動や、スポーツ競技におけるドーピング防止についての指導・助言、次世代を担う薬剤師育成のための薬学生長期実務実習受け入れなど、薬剤師の求められている役割は多岐にわたっている。

なかでも、改正後 5 年を迎えた医薬品医療機器等法の改正に向けた厚生科学審議会・医薬品医療機器制度部会の議論では薬剤師・薬局への厳しい指摘があり、それを踏まえた薬剤師・薬局が求められる姿が平成 30 年 12 月に公表された「薬機法等制度改正に関するとりまとめ」に示された。この内容は薬剤師職能の中核となるものであることから、真摯に受け止めて適切に対応していかなければならない。

一方、保険薬局指定に係る留意事項通知に伴うルール適用により、公的病院等による同一敷地内への薬局誘致が続いている。このような状況は、医薬分業の趣旨に反するものであり、「患者のための薬局ビジョン」に示された、かかりつけ薬剤師・薬局の推進に逆行するものである。

このように、薬局・薬剤師を取り巻く環境は厳しさを増す中、求められる資質・機能はこれまで以上に高くなっていることから、様々な課題に対応できる薬剤師の育成と資質向上に努め、県民の健康な生活の確保・向上に寄与するとともに、薬剤師会の組織強化を図っていかなければならない。

そのために、日本薬剤師会等との連携の下、2019 年度は、地域包括ケアシステムのなかで地域住民の相談役としての役割を担う「かかりつけ薬剤師・薬局」の推進を図り、薬局薬剤師と病院・診療所薬剤師の連携強化を一層推進する。また、「かかりつけ薬剤師・薬局機能」、「健康サポート機能」、「高度薬学管理機能」の充実、調剤報酬等の対応、薬剤師の自己研鑽への支援や組織強化に向けた支部活動の推進・事業協力等支部との連携を図っていく。

特に、本年度は重点を置く事項として薬剤師の職能向上のために生涯を通じた学習支援システムである J P A L S の利用促進、在宅療養対策のための無菌調剤室の共同利用促進の支援及び地域ケア会議への参加の支援、いわゆる薬薬

連携のためのハンドブック作成及び学校環境衛生基準の変更への対応と学校薬剤師による学校環境衛生検査の完全実施へ向けた対策等を加えた。さらに、熊本県においてラグビー、ハンドボールの国際大会が開催されることからスポーツファーマシストが適切に貢献し活躍が評価されるよう支援したい。

これらを基本方針として以下の事業に取り組む。

公1 薬剤師職能の向上の推進、公衆衛生の普及・指導及び薬事衛生の普及・啓発活動並びに地域医療への貢献と医療安全確保のための事業

1 薬学の進歩及び薬業の発展促進に関する事項

(1) 薬学教育

- ①認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催
- ②認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催
- ③フォローアップ研修会の開催
- ④アドバンストワークショップの開催
- ⑤改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習への協力

(2) 第52回日本薬剤師会学術大会等への参加・協力

2 薬剤師の職能向上に関する事項

(1) 学術研修会の開催等

- ①生涯学習研修会
- ②学術大会
- ③臨床研究支援研修会
- ④新採用薬剤師教育研修会
- ⑤薬剤師セミナー
- ⑥保険薬局セミナー
- ⑦医療安全講習会
- ⑧高度管理医療機器等に係る継続研修会
- ⑨健康サポート薬局に係る研修会
- ⑩在宅医療研修会
- ⑪セルフメディケーションに関する研修会
- ⑫薬局ビジョン研修会

3 保健、医療、福祉、環境の向上に関する事項

(1) 健康増進関連

- ① 県民公開講座の開催
 - ② くすり与健康展の実施
 - ③ 禁煙指導薬剤師の認定・育成
 - ④ 薬の適正使用、アンチ・ドーピング活動啓発
 - ⑤ スポーツファーマシストの育成及び関係機関との連携支援
 - ⑥ 登録販売者研修会の開催
- (2) 災害対策（災害時緊急医薬品等供給）及び感染症防止対策
- ① 災害薬事コーディネーター、災害支援薬剤師等の養成
 - ② モバイルファーマシーの活用及び訓練
 - ③ 熊本県地域総合防災訓練への対応
- (3) 認知症への対応
- ① 認知症対応力向上研修会の開催
- (4) 医療サービスの提供支援及び薬局薬剤師との連携
- ① 病院業務に係るハンドブックの作成及び活用の啓発
 - ② 病診・薬局連携セミナーの開催

4 在宅療養対策に関する事項

- (1) 在宅訪問薬剤師支援センター等整備
- (2) 医療材料等供給システムの整備
- (3) 無菌調剤室共同利用促進の支援
- (4) 地域ケア会議への参加の支援

5 医薬品等の情報提供及び有効性・安全性の確保に関する事項

- (1) おくすり相談
- (2) ドーピング防止ホットライン対応
- (3) 医薬品検索システムの整備
- (4) 薬剤イベントモニタリング
- (5) 医薬品の安全性試験検査

6 学校保健に関する事項

- (1) 学校保健の推進
 - ① 学校薬剤師研修会の開催
 - ② 薬物乱用防止活動の支援
 - ③ 学校環境衛生基準の変更への対応
 - ④ 学校環境衛生検査の完全実施へ向けた支援

7 薬剤師無料職業紹介所に関する事項

(1) 薬剤師無料職業紹介所の有効活用

①企業説明会の実施

②ポスター・チラシ等の作成・配布

(2) 求人・求職情報システムの活用

8 広報及び機関誌の刊行に関する事項

(1) 熊薬会報の発行

(2) メディアによる広報活動

収1 公益目的事業に資するための収益事業

(1) 土地の賃貸

他1 会員の厚生福祉、薬局の支援に関する事業

(1) 会員の厚生福祉の増進

(2) 医療事故等に係る損害保険

(3) 医療保険制度等

(4) 専門図書等の斡旋